

オアシス通信



八月二十三日土曜日の午後六時から毎年恒例のサマーフェスティバルが行われました。今年も雨のため、本教会一階集会室と駐車場にテントを設置して行われました。雨にもかかわらず近所の方や毎年楽しみにして来てくださる方、「英語であそぼ」や「ポニー」からの参加もあり、五十四名ほどになりました。スーパーボール釣りやパターゴルフ、ボール入れ、つかみ取り、消しゴムづくりなど

雨のサマーフェスティバル 腹話術で福音伝える

のゲームコーナーを楽しみました。また、たこ焼きやチュールペット、わた菓子などおいしくいただきました。スペシャルゲストの高橋吉晴先生の手品と腹話術がありました。イエス様の救いのお話が手品や腹話術の中に織り込まれ、引き込まれるように楽しく聞くことができました。小さい子どもたちも、近くに行つては、覗き込むようにして見入っていました。

海外宣教の日は、昨年からインターナショナル・フェローシップ・デイの名で持つようになりました。今年は、8月17日に持ちました。礼拝では、辛先生ご家族、田中アドリアナさん・カオリさん親子による特別賛美が主に献げられました。続いて、小山牧師よりマタイ16章13節～20節から「イエスとは誰か」と題してメッセージが

インターナショナル・フェローシップ・デイ



あり、家族、友人、近所や職場の人たちに福音を伝えるようチャレンジが与えられました。

昼食時には、ブラジル、韓国、アメリカ、日本の何種類ものデザートなどを味わうことができました。(私たちの教会では、枝教会を含めると現在7カ国の人たちが礼拝に集っておられます。)

これからも地域に開かれた教会として親しまれていくようにと願っています。

単ペン大会に参加して

八月十九日から二十一日まで、希望ヶ丘青年の城(滋賀)において、フィランドからマルコ・セルコマー師を講師に迎えて単立ペンテコステ大会が開催されました。総勢約二百七十人の参加がありました。岐阜純福音教会からは十四名が参加しました。セルコマー師は、「超自然への道」のテーマの下、どのようになにに主の臨在に満たされ、主の臨在の中を歩むことができるか、ご自分の経験からダイナミックに語ってください、大いに励まされました。

4人の兄弟が受洗

八月十七日、本教会の西脇和美兄、大垣インターナショナルのヤマモト・エンリケ・ナオキ兄、タドコロ・セルソ・ユウイチ兄、ネモト・ミルトン・サダオ兄の四名が洗礼を受けられました。一人ひとりの洗礼前の証しは、とても感動的で、主の臨在に満ちた洗礼式となりました。

